



新総会長に金鐘賢牧師選出、金柄鎬総幹事再任 大韓イエス教長老会(高神)との宣教協約締結調印も

2017年10月8日(主日)～10日(火)、在日大韓基督教会第54回定期総会が、「福音をたずさえ、世にいのちと平和を」(ヨハネ20:21)という主題をもって神戸東部教会で開催された。

8日(主日)の午後7時から副総会長の尹聖哲長老の司会で始まった開会礼拝は、総会長金性済牧師が「剣と槍を打ち直して」(イザヤ2:1～5)という題で説教した後、副総会長金必順牧師の司式のもとで聖餐式が執り行われた。未自立教会支援のために献金があった後に、楊炯春牧師による「召天者」追悼の言葉と祈りが行われた。

会議の開会が宣言され2泊3日の定期総会日程に入った。先ず、機構改革委員会が常任委員会を通して提案された「全ての視務牧師、視務長老を総代にすること」を今回限りの特例として承認し、会順採択と議事運営委員が承認された後、前回定期総会会議録が承認されて一日目の会議が終わった。

二日目は、敬虔会(司会:張慶泰牧師、説教:李聖雨牧師)後、選挙に入った。選挙の前に常任委員会から提案されて承認された選挙に関する規則変更「総会長、副総会長、書記、副書記、会計までの任員全員を選挙する」のもとで選挙を行い、総会長に金鐘賢牧師(浪速)、副総会長に金健牧師(川崎)、呉永錫長老(東京希望キリスト)が選出された。引き続き総幹事選任に入り、金柄鎬牧師が2期目総幹事として承認され、4年間の任期を全うすることになった。その他の任員は、書記:趙永哲牧師(大阪北部)、副書記:中江洋一牧師(広島)、会計:李大宗長老(名古屋)が選ばれた。任員選挙の間に内外来賓紹介があり、挨拶をいただいた。美国長老教会(PCUSA)韓人教会全国総会(NCKPC)総会長池善默牧師、事務総長朴性柱牧師、台湾基督長老教会書記張顯爵牧師、東京台湾教会李孟哲牧師、基督教大韓聖潔教会総務金珍鎬牧師、韓国基督教長老会総会長尹世寬牧師、大韓イエス教長老会(統合)総会長崔基學牧師、書記金義植牧師、日本基督教協議会議長小橋孝一牧師、日本基督教団宣教幹事大三島義孝牧師、日本基督教会大会議長富永憲司牧師。

今回特別に大韓イエス教長老会(高神)との宣教協約が締結され調印式がこの場で行われ、総会長金相碩牧師、事務総長具滋佑牧師が紹介され、また高神総会と協約を結んでいる日本改革派基督教会大会議長小峰明牧師、常任書記櫛津省一牧師が紹介され、挨拶と祝辞をいただいた。

引き続き、金武士牧師の司会で「旧・新任員交替式」が行われ、議長が金鐘賢新総会長に交代された。その後、各委員会と各機関の報告に進んだ。

今回の定期総会では、7つの分団に分かれて分科会が行われ、そこから委員長を推薦されてから、新旧総会長、副総会長、各地方会長により調整された委員長が選任された。

宣教委員長:鄭然元牧師(大阪)、教育委員長:金仁果牧師(福岡)、社会委員長:鄭守煥牧師(豊橋)、神学考試委員長:金武



士牧師(大阪西成)、信徒委員長:金迅野牧師(横須賀)、憲法委員長:洪性完牧師(つくば東京)、年金委員長:金秀生長老(名古屋)、財政委員長:李大宗長老(名古屋)、讃頌歌委員長:梁榮友牧師(武庫川)、監査:牟大盛長老(大阪北部)。

三日目は、敬虔会(司会:崔和植牧師、説教:朴栄喆牧師)から始まり、議事に入り各委員会の組織後、各委員会の活動計画の報告と質疑討議がなされた。

三日間決議された主な議案は、①今回の定期総会に限り全視務牧師と長老を総代にする件。②任員選挙には書記、副書記、会計まで選挙で選任し、各委員会の委員長は分科会が推薦する者を考慮しつつ、新旧総会長、副総会長、地方会長が推薦し総会の認准で選任することによる総会規則改正の件。③大韓イエス教長老会(高神)と宣教協約締結の件。④財政、年金に関する総会負担金規定の件(年金を外して)。⑤その他、KCC、RAIK、西南KCC、在日総会神学校の理事、監査承認の件。⑥前回(第53回)定期総会で可決された憲法改正の件(憲法第33条(長老)1項(依頼辞任)、戒規第4条(懲罰)4項(免職)の最終採択の件が承認された。

最後の予算案審議に関しては、原案が年金を含めた予算であったため、年金を外し新たな予算案を次期常任委員会に提出し承認することにし、閉会礼拝に移った。副総会長金健牧師の司会、副総会長呉永錫長老の祈祷、総会長の金鐘賢牧師の「福音をたずさえ、世にいのちと平和を」(ヨハネ20:21)という題目で説教と閉会が宣言された。

会場を提供し、あらゆる奉仕をしてくれた神戸東部教会、西部地方会の女性会、礼拝の伴奏の奉仕をした梁律子執事、同時通訳の金明均牧師、李相徳牧師、石橋真理恵伝道師、海外来賓の送迎と市内観光、映像の奉仕などをした李承厚牧師、金忠洛牧師、李重載牧師、申容燮牧師、許伯基牧師、また、一時も席を離れず会議録書記として奉仕した朴栄子牧師、金仁果牧師に感謝する。

(編集者)

第54回総会期 各委員会組織と活動計画

●宣教委員会

＜組織＞

- 委員長：鄭然元牧師（大阪）
- 委員：姜章植牧師（書記、品川）、
李炫知勸士（会計、女性会）、
金承熙牧師（岡山）、辛治善牧師（別府）、
崔光一長老（名古屋）、金錦順長老（布施）



＜活動計画＞

- 海外宣教協力教団との交流、協力・協議
- 日本国内宣教協力教団との交流、協力・協議
- KCCJ宣教110周年行事（2018年8月12日～15日、東京）に協力と支援
- 海外韓人教会教育と牧会協議会（2018年2月21日～24日、大阪）に協力と支援
- 全国教会女性連合会との連携で、在日男性伝道及び所属教会の壮年部の活性化のための企画と協力
- 異端・カルトの問題についての研究と対策強化
- 海外宣教の課題を研究し、海外宣教地への見学などを検討

●教育委員会

＜組織＞

- 委員長：金仁果牧師（福岡）
- 委員：朴栄子牧師（書記、豊中第一復興）、
金容昭牧師（会計、西新井）、
全炳玉牧師（名古屋南）、金永柱牧師（西宮）、
崔栄信牧師（宇部）、崔宰熏長老（名古屋）



＜活動計画＞

- 2018年、在日大韓基督教会の創立110周年を迎える、2018年8月12日～15日に行われる合同修養会に協力。
- 総会の教会学校の発展のための研究をする。
- 海外韓人教会教育と牧会協議会（2018年2月21日～24日、大阪）参加

●社会委員会

＜組織＞

- 委員長：鄭守煥牧師（豊橋）
- 委員：申容燮牧師（書記、KCC）、
曹泳石牧師（会計、磐石）、
韓澤柱牧師（姫路）、朱文洪牧師（小倉）、
佐藤信行所長（RAIK）、金成元長老（KCC）、
李敏礼執事（女性会）



＜活動計画＞

- 熊本地震被災者支援プロジェクト
 - 仮設住宅で生活をする避難者へのカフェ開催（現地スタッフ：金聖孝）
 - 現地ボランティア・センター「エルピス熊本」運営をサポートする（財政的支援）
 - 活動支援の為にKCCJ全教会への献金要請（2017年12月末日まで目標額：200万円）
- 「人権シンポジウム」開催

日時：2018年4月8日（土）～9日（日）
場所：京都南部教会
- 「性差別とセクシャル・ハラスメントについて」の小冊子発行
 - 今会期中に発行をめざし予算を計上する。
 - 各地方会、個教会単位での研修を要請すると共に、講師派遣、紹介も今後検討。

●神学考試委員会

＜組織＞

- 委員長：金武士牧師（大阪西成）
- 委員：金承熙牧師（書記、岡山）、
崔和植牧師（会計、長野）、
金根湜牧師（ハンサラン）、趙永哲牧師（大阪北部）、
梁榮友牧師（武庫川）、李惠蘭牧師（西南地方会）



＜活動計画＞

- 宣教師・牧師・伝道師考試の実施
- 宣教師・他神学校出身者の研修会
- KCCJ標語の考案
- KCCJ教職・指導者養成とカリキュラムなどの考案
 - 長老教育と考試のための統一教案・問題集作成
 - 教職者（牧師）への継続教育
 - 次世代の牧師・伝道師養成

●信徒委員会

＜組織＞

- 委員長：金迅野牧師（横須賀）
- 委員：崔亨喆牧師（書記、枚岡）、
崔美惠子勸士（会計、神戸）、
崔鍾福牧師（千曲ビジョン）、韓承哲牧師（神戸東部）、
千奉祚牧師（折尾）、金恵珍執事（女性会）、
呉真雅（青年会）



＜活動計画＞

青年の活動を引き続きサポートすることとする。当面は、来年、2018年8月に予定されている110周年事業のなかで、信徒が平場で語り合い課題を共有するための「信徒フォーラム」や、信仰の継承を目的とした青年の出会いの場としての「青年のつどい」などを企画提案すること。

●憲法委員会

＜組織＞

- 委員長：洪性完牧師（つくば東京）
- 委員：白承豪長老（書記、神戸）、
高誠牧師（岐阜）、
朴成均牧師（和歌山第一）、金聖孝牧師（熊本）、
金達弘長老（川崎）、牟大盛長老（大阪北部）



＜活動計画＞

- 在日大韓基督教会の最新の「憲法及び規則集」を整理して第54回総会期に出版する。そのために、日程表を作成し、作業を進めていく。審議にあたり、会合する暇がない場合、りすると、メールによる意見交換をし、整理していく。
 - 各地方会規則（総会憲法・規則の改正に伴う変更及び修正されたものを審査する
 - 常任委員会の各委員会規則
 - 「宗教法人在日大韓基督教会規則」
- 総会憲法・規則に照らし合わせて、五地方会の規則の一貫性を審査・調整する。
- 宗教法人「在日大韓基督教会」と被包括関係にある、宗教法人としての個教会の規則変更及び修正を促すためにも、モデルとなる個教会の「宗教法人規則」を提示していく。たとえば、「宗教法人在日大韓基督教会規則」の変更が、文部科学大臣の認証書の交付を受けた日（2012年2月6日）から施行されたことによる。

●年金委員会

＜組織＞

- 委員長：金秀生長老（名古屋）
- 委員：李明忠牧師（書記、横浜）、
吉井秀夫長老（会計、京都）、



高在道長老（会計、名古屋）、金哲鎬長老（神戸東部）、
金定明長老（宇部）

＜活動計画＞

- 第54回期の目標：2年後の総会までに、年金運営が継続可能な案と年金を廃止する案の2つに1つを絞る妥当案を提示する。
- 継続可能とする場合、収入増の妙案があるのか探し結論を出す（年金制度の趣旨をキリスト教精神に基づいた定年後の教役者を現役全教会で決算の1%で支援することを長く訴求してきたが、現状効果は無く2/3の教会が未納）。
- 継続可能とする場合、現状の給付額の大幅カットが必要となり、その見積りを実施する。同時に、現役教役者でも今後受給資格（2年の未納で資格を失う）が無い教役者がどの程度いるのかを現状把握をする必要がある。
- 上記を踏まえ、総会で年金を継続することに意義があるのか、妥当性を判断した上で、廃止案を検討する。
- 廃止案にあたっては、受給者の実態を調査した上で、総会年金制度に変わる支援策検討（西部計画案参考）及び、現状受給者の承諾を得るための条件や手順、また多くの教会が妥当と思われる解散条件を検討する。
- 前期残存課題の沖縄教会立替金の返済計画、及び朴寿吉牧師の加入資格の件については、金秀男前期年金委員長が対応中であり、解決の道筋、計画を立てて引き継ぐこととする。

●財政委員会

＜組織＞

- 委員長：李大宗長老（名古屋）
- 委員：裴良一長老（書記、京都）、
李仁成長老（会計、名古屋）、
申大永長老（東京希望キリスト）、
朱宗中長老（西宮）、
金定明長老（宇部）



＜活動計画＞

- 第54回定期総会にて献議案5号：「財政、年金に関する総会負担金の件」について在日大韓基督教会負担金規定第3条「負担金の算出基準」から年金を削除すると同時に、第4条「控除の基準」を再度見直し早急に各個教会からの宣教負担金を算出、11月4日財政委員会にてまとめ上げ財政委員より各個教会にフィードバックし予算とする。
- 2016年度・2017年度収支報告書に訂正を加え、決算予算報告書を2018年4月10日常任委員会にて承認を得られるよう完成させる。
- なお新年度が始まっている旨、各地方会財政委員は各個教会に対し負担金徴収は徹底し、地方会と総会が健全に運営できるよう働きかける。



●讃頌歌委員会

＜組織＞

- 委員長：梁榮友牧師（武庫川）
- 委員：金必順牧師（准、書記、堺）、
金忠洛牧師（会計、大阪）、
朴栄子牧師（豊中第一復興）、
崔亨喆牧師（枚岡）、申容燮牧師（KCC）、
朴喜煥牧師（准）、韓澤柱牧師（准、姫路）



＜活動計画＞

- 前期の引き継ぎ作業として、子どもさんびかの楽譜入れる作業を来年6月までに完成することを目指して続けていく。



第54会期常任委員会の役員たち



海外から来賓として臨席した各総会長たち



全国女性会の総代たち



大韓イエス教長老会（高神）との宣教協約印式

讃美とみ言葉の夕べ開催 創立65周年を記念、10教会が参加



2017年9月24日、東京希望キリスト教会において、創立65周年を迎えた関東地方教会女性連合会（会長：朴英遠長老）が主催する「讃美とみ言葉の夕べ」が行われ、関東地方会の10余りの教会が参加して讃美とみ言葉をもって恵みを分かち合った。

毎年この時期に行われるこの集いの礼拝には、関東地方会長張慶泰牧師による「内なる人のために」（エフェソ3：14～21）という説教が行われた後、各教会が猛練習して臨んだ讃美を披露した。その中で、横須賀教会、西新井教会、船橋教会が高く評価され、表彰された。

（報告：金顕貞書記）

＜お詫び＞

先月の福音新聞の韓国語版の1面題字横の発行日、号数がその前の9月号のままになってました。正しくは「2017年10月1日（日）第766号」でした。お詫びして訂正致します。

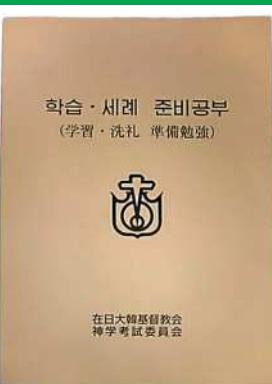
韓日対照聖書販売

各ページ左に韓国語（改革改訂版）、右に日本語（新共同訳）が掲載されています。

- A5版変型
- 1772ページ
- 価格：3,000円
(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

学習・洗礼準備勉強集



信徒が新たに学習や洗礼を受けるときの準備学習の手引き集です。
各教会でご活用下さい。

- A5版
- 価格：350円
(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

第27回みことばと讃美のフェスティバルを開催 15教会、332名が参加して盛大に

2017年9月10日、第27回「みことばと讃美のフェスティバル」が大阪教会で開催された。15教会から332名が出席した。

第一部の礼拝では関西地方教会会長の朴成均牧師により「礼拝の本質」という題で説教がなされた。

引き続き行われた第二部の「みことばと讃美のフェスティバル」では、金錦順会長の挨拶、審査委員5名の紹介の後、各教会の讃美が行われた。参加した全ての教会が神様に讃美をもって栄光を捧げた。

今年で27年目を迎える「みことばと讃美のフェスティバル」は、参加した15教会のうち3教会が初めて参加した。皆の心ひとつになり神様を讃えることができ、有意義な時間を過ごした。

今回のフェスティバル賞は堺教会、讃美賞は京都南部教会、みことば賞は大阪第一教会が受賞し、その他の各出場教会に賞状と参加賞が授与された。

（報告者：全早苗）



韓日対照讃頌歌販売



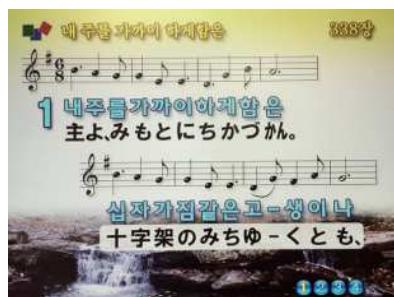
韓国的新讃頌歌版です。
交説文も韓日対照で掲載されています。

- B6版変型
- 1483ページ
- 価格：2,500円
(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

韓日対照讃頌歌販売

韓国的新讃頌歌のプロジェクト用のデータが収録されています。



- CD版
- アプリケーション
Power Point
- 5,000円
(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ